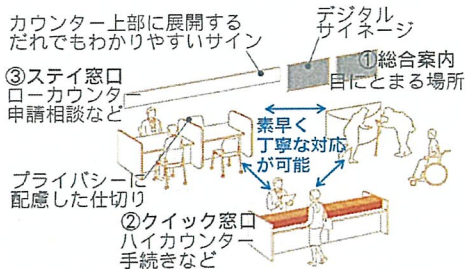


方策1. わかりやすい単純な平面

- ・ シンプルなT字型の平面構成
- ・ 建物を通り抜ける「パサージュ」
- ・ 誰もが入り易い明快なエントランス
- ・ 全体の様子がわかりやすい大らかな空間
- ・ 広く開放的な執務スペース
- ・ 上下階をひとつにつなぐ吹抜/吹抜階段
- ・ 町民の集いの場を南北に設置
(北側：町民大広間 南側：小鹿野ホール(議場))

方策2. より良い町民サービス

- ・ 間口の広いサービスカウンターを設置
- ・ 執務室から「パサージュ」への視認性を確保
- ・ 来庁者動線と職員動線を分離
- ・ プライバシーに配慮した相談室を用意
- ・ ユニバーサルデザインを徹底
- ・ 大人の目が届く場所にキッズスペースを設置

**方策3. いつも来たくなる楽しい場所**

- ・ 「パサージュ」に沿う居心地の良い「えんがわ」(情報スペース等)
- ・ 町民大広間の様子が大通り側から見え、賑わいを呼び込み、集いやすい
- ・ Wifiや防音室を整備し自習や打合せ目的で利用できる環境を用意
- ・ 一人でも居られるカウンター席を設置

方策4. 明るく爽やかな空間

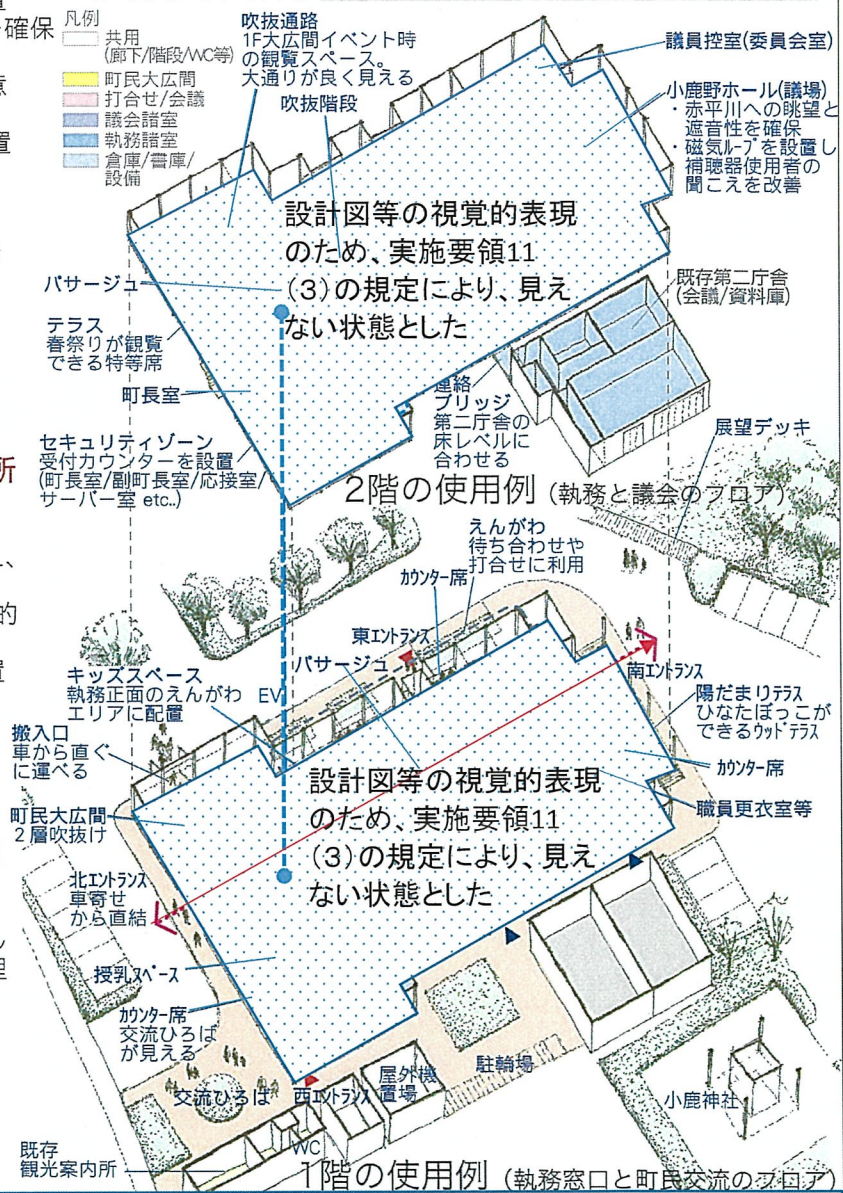
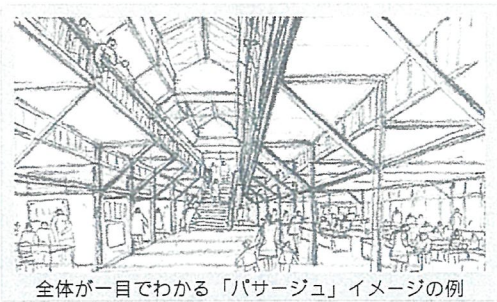
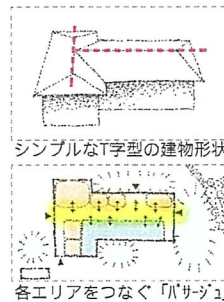
- ・ ハイサイドライトから制御された自然光を導入
- ・ 開放感のある天井高
- ・ ゆとりある廊下/階段幅

方策5. 自由度が高く多機能な空間

- ・ 可動間仕切り/可動家具による部屋割
- ・ 一部の空間(執務中央など)は無柱
- ・ 床はフリーアクセスフロアで段差なし
- ・ できるだけ機能を重層化し空間を合理的に整備(大広間=エントランスホール、パサージュ=待合ロビー、廊下=自習スペースetc...)
- ・ 隅々まで使い尽くす(廊下=カウンター席)

方策6. 町の誇りとなる正面

- ・ 水平に伸びる大屋根が人々を誘う
- ・ 適度なスケールで町に調和
- ・ 木のぬくもりが感じられる外観



着色したパース等の視覚的表現のため、
実施要領11(3)の規定により、見えない
状態とした